

## ※1 自然塗料

法令で特に定められた定義はありませんが、「塗料分類の一つで、組成・成分に石油資源や合成顔料を含まない天然の循環する素材からの原材料のみでなる塗付け材。VOC（揮発性有機化合物）及びホルムアルデヒドが発生するので注意が必要（社団法人日本塗料工業会ホームページより）」という説明がされています。



ホルムアルデヒドの放散

## ※2 ホルムアルデヒド

**（よく耳にしますが、どのような化学物質でしょうか）**

刺激臭のある無色の気体で、シックハウスの原因物質のひとつです。35～37%の水溶液がホルマリンで、消毒剤や防腐剤に使われている他、さまざまな合成樹脂の原料となります。その樹脂は、接着剤、塗料、食器などの原料や繊維の加工剤等として広く利用されています。



自然塗料は、もともとはホルムアルデヒドを含んでいませんが、乾燥中に原料である油の成分が化学変化を起こし、ホルムアルデヒドが発生します。

## 【参 考】ホルムアルデヒドの室内濃度指針値について

厚生労働省では、ホルムアルデヒドの人への健康影響について評価した結果に基づき、室内濃度指針値（この値以下であれば、人への健康影響はないとされる値）を、 $100 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ※と定めています。

室内での主なホルムアルデヒド発生源は「合板」です。壁などの建材の他に家具もホルムアルデヒドの発生源となります。

室内濃度を下げる最も良い方法は、換気です。



よく乾かしてから使用しましょう  
乾燥中及びその後もしばらくは、  
換気に注意しましょう

※  $\mu$  = マイクロとは  $10^{-6}$  のこと。  $1 \mu\text{g}$  は  $0.000001\text{g}$ 。

## このことにも注意！～塗料が染み込んだ布が自然発火?!～

自然塗料の拭き取りなどに使った布をゴミ箱に捨てたところ、数時間たって布が自然に発火したという事故が起きています。

この自然発火は、布に染み込んだ油が空気に接触した際に発生する酸化熱により起こったと思われます（食用油や機械油でも、同じことが起こる可能性があります）。

自然発火による事故を防ぐため、次の点に注意しましょう。

- 取り扱いに際して製品の注意表示や取扱説明書を必ず読み、それらに従って処理を行う。
- 使用した布などはそのまま捨てずに、十分に水分を含ませた状態で廃棄する。

「東京くらしねっと」安全シグナル 2005/7月号より